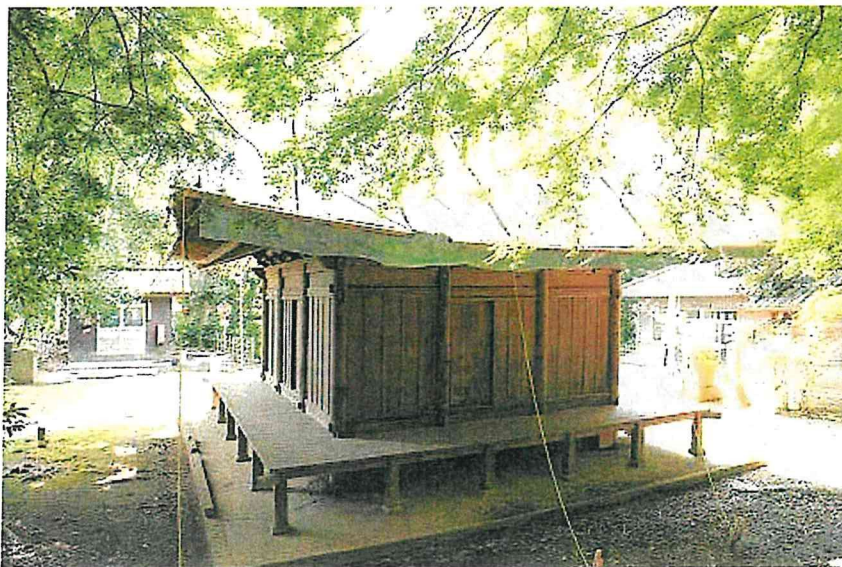




観音堂正面(西面)



観音堂南側面



観音堂背面(東面)

・茅の腐朽が進んでいるため
シート養生されている。

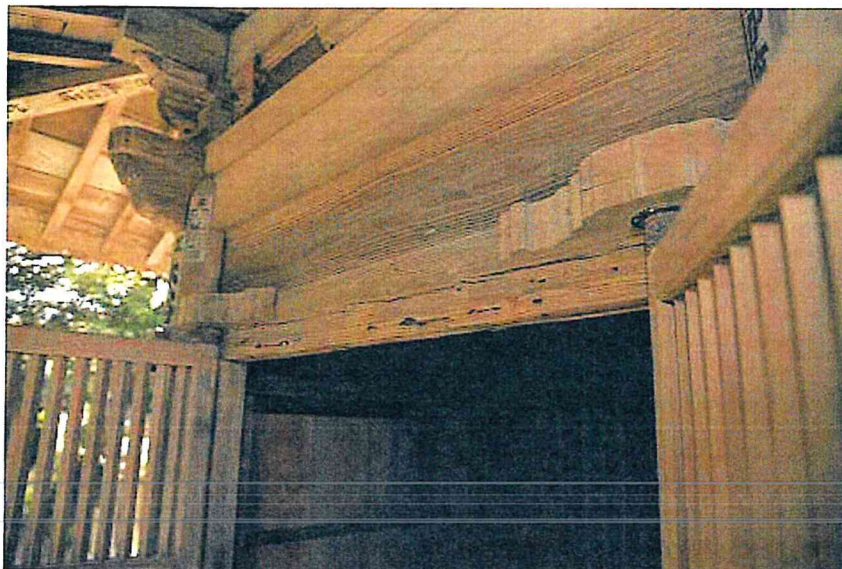
重要文化財宝珠院観音堂保存修理工事



背面軒付部分の茅腐朽状況



正面中央間内法貫の虫穴



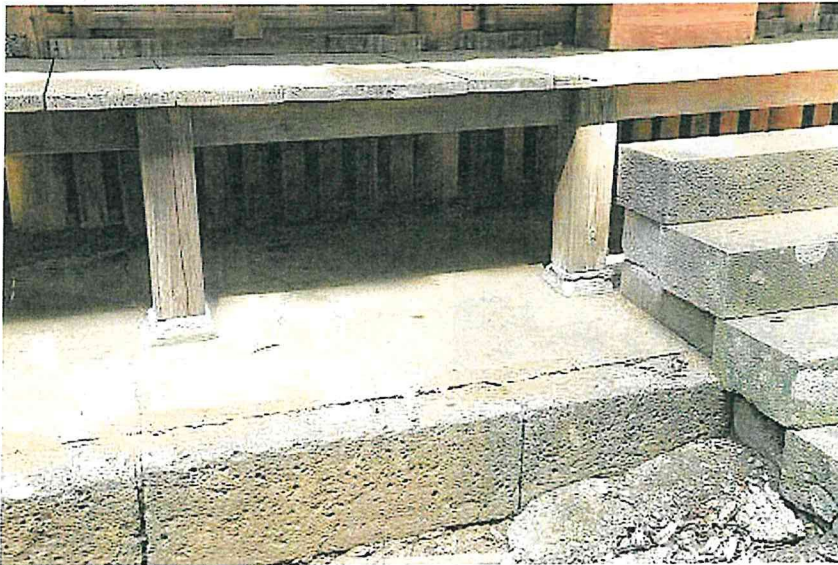
正面北端間内法貫の虫穴

重要文化財宝珠院観音堂保存修理工事



正面北側雨落の状況

- ・雨落到敷かれていた砂利と表土が洗い流されている。



同上縁束石とコンクリート土間の状況

- ・コンクリート土間にはクラックが生じている。
- ・縁束石は塩類風化により表層剥離が進んでいる。



縁束石劣化状況詳細

- ・縁束と縁束石の間に隙間が生じている。縁束柱根には柄があるはずであるが、縁束石と真がズレている。



修理前 正面

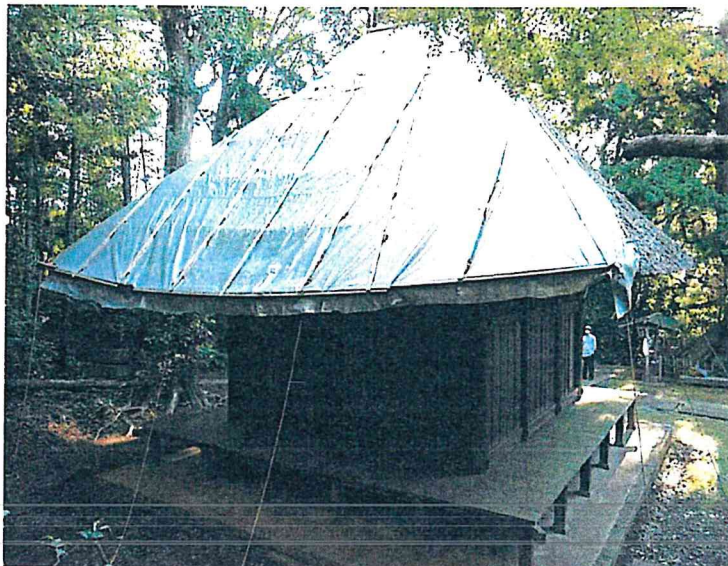
養生シートにより、今夏・秋の
台風や大雨の被害はない様子。
軸部や縁廻りも大きな変化は
みられない。

10月31日撮影



修理前 正面左側

10月31日撮影



修理前 背面

10月31日撮影



修理前 正面右側

10月31日撮影



修理前 背面軒付破損状況

10月31日撮影



修理前 正面左側軸部

10月31日撮影



来迎柱・厨子・須弥壇全景

昭和28年修理時に、来迎柱、厨子
須弥壇の彩色復原をしている。
一部内陣背面通り組物廻りは同様に
復原した上に古色塗を施している
と報告書にある。



来迎柱部分 詳細

極彩色全体に浮きや剥落が見られ
る。



来迎柱 彩色剥落状況

来迎柱に斜光ライトを当てると、
特に金欄卷の金箔の浮き、剥落が
甚大であることがわかる。

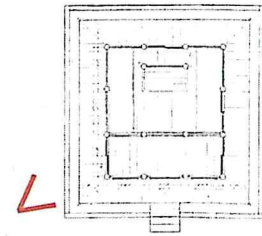


**直接仮設工事
仮設足場 組立完了**

11月4日 資材搬入

11月8日～15日 組立

日中の拝観者は10名程度ある。



**直接仮設工事
仮設足場 組立完了**

ステージの状況



**直接仮設工事
屋根面足場 設置**

屋根葺き解体用の丸太足場を各面

4段設置した。

屋根工事 解体前 棟積小口



棟積みの杉皮や、棟編み竹、極棟木の腐朽が甚だしい。

杉皮下に、防水シート（ゴムアスファルトフェルト）が仕込まれており、これが原因でシート上の杉皮等の腐朽が進んだようである。



屋根工事 棟積の解体

杉皮や棟飾竹が朽ちている様子。



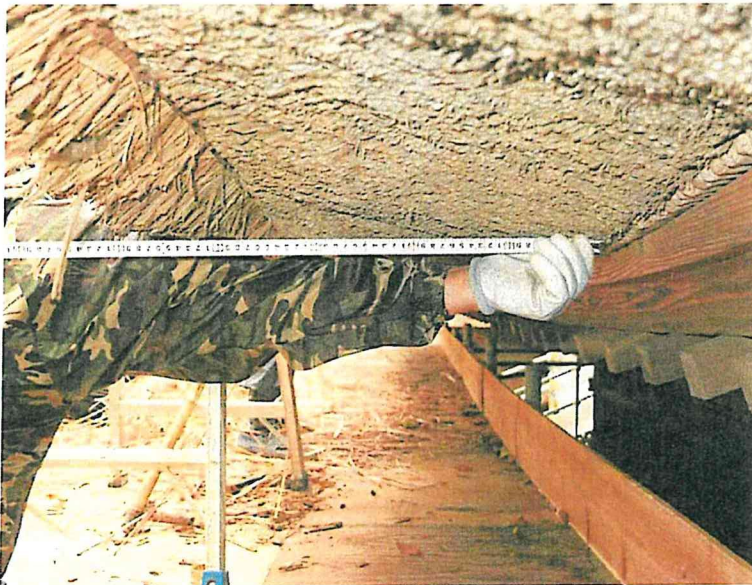
屋根工事 断面状解体（仕様調査）

平葺きは、下から1.5尺ピッチで2本取りの篠竹を押鉾にして、1段目は屋中竹に縄締めし、2段目以降は前段の押鉾から縄取りをして葺き上げている。押鉾は10段。



屋根工事 軒付け断面（仕様調査）

裏甲上の櫛引竹（篠竹）は昭和28年修理時のもの。健全な状態で、再利用可能。軒付茅は、櫛引竹上に釘止めた篠竹から鉄線にて緊結する。藁縄では径が太く（2.5分径程度）、縄取りが出来ないので、今回も同様の仕様とする。



屋根工事 軒付の状況

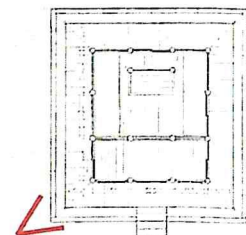
実測寸法
勾配なり軒付寸法（厚さ）：櫛引竹木口～杉皮まで470mm+杉皮～水切茅先端100mm内外。勾配17/100

昭和28年竣工図
勾配なり寸法（厚さ）：櫛引竹木口～水切茅先端まで600mm。勾配37/100

軒付を下から叩きこみ、最小限の刈込で勾配を是正し、杉皮を全面取替えて、杉皮上の水切り茅で軒付け寸法600mmになるようにする。



屋根工事 平葺き解体状況



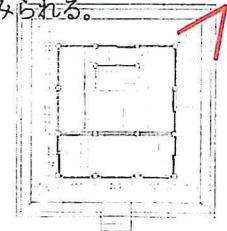


屋根工事 平葺き解体完了

右側面

中央部の杉皮およびその直下の軒付
の破損が見られる。

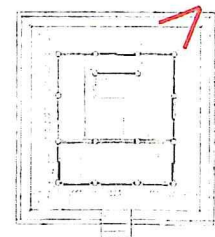
建物脇の杉木や銀杏木の落葉による
ものとみられる。



屋根工事 平葺き完了状況

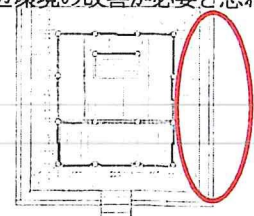
背面の状況

杉皮および直下軒付けも腐朽して落ち
てしまった。



周囲環境の状況

工事着手前の今末夏、自費により枝
払いを実施してる。φ100ほどの若い
杉木が4本、枝葉を茂らせている。落
葉の他、採光通風の面でも伐採して
建物周辺環境の改善が必要と思われ
る。





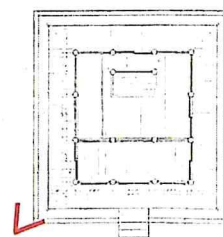
**基礎工事
縁下con土間解体完了**

解体完了状況

.....

.....

.....

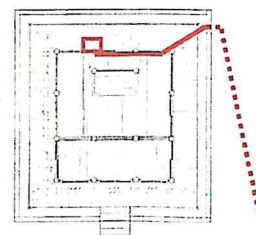


**基礎工事
縁下CON土間解体完了**

空気管・自火報配線の塩ビ管の
埋設状況

.....

.....



**基礎工事
縁下CON土間解体完了**

土間コンクリートの断面

(厚55~75)

昭和28年に施工し、平成7年に
ひび割

れのため、上塗り補修をしてい
る。

.....

.....

.....



屋根工事 樋棟木 解体状況

左：現・樋棟木（幅127×長2025）

右：「昭和52年改葺前の棟木」
（幅121×長2170）

小屋内に格納してあったもの

昭和52年改修時のものか？

150mm程度の長さの違いがある。

長さの違いは修理写真からも確認できる。



雑工事 発生材運搬

解体した茅をコンテナに積み込んで
いる状況。

ほか2コンテナはすでに運搬済み。

全4コンテナ。



雑工事 発生材運搬

縁下コンクリート土間

コンクリートガラ（無筋）場内集積

状況